

8 中学校 音楽科 問題用紙

(6枚のうち1)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

1 あとの1～6に答えなさい。

- 1 次の(1)～(3)の楽譜は、ある楽曲の一部を示したものです。それぞれの楽譜が示す楽曲名とその作曲者名を書きなさい。

(1)

(2)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(3)

- 2 次の表は、発想を示す用語についてまとめたものです。表中の(1)～(6)に当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

用語	読み方	意味
appassionato	アパッショナート	(1)
(2)	ブリッランテ	はなやかに
cantabile	カンタービレ	(3)
con brio	コン・ブリオ	生き生きと
espressivo	エスプレッシーヴォ	(4)
maestoso	マエストーゾ	(5)
scherzando	スケルツァンド	(6)

- 3 次の(1)～(6)の形式の特徴を、それぞれ書きなさい。

- (1) 有節歌曲
- (2) 通作歌曲
- (3) 連作歌曲
- (4) 一部形式
- (5) 二部形式
- (6) 三部形式

(6枚のうち2)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 4 次の(1)～(3)の語句の説明として適切なものを、下の(ア)～(カ)のうちからそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

(1) ミニマル・ミュージック

(2) トーン・クラスター

(3) 表現主義

- (ア) 20世紀初頭、絵画や文学を中心に起こった、独自の感情世界を主観的に表出することを主眼とした芸術運動の概念
 (イ) 19世紀末より20世紀にかけフランスを中心に、主に叙情詩の上に現れた芸術思潮
 (ウ) 簡単で短い音型を繰り返して構成される音楽
 (エ) 作曲や演奏に偶然的な要素を取り入れた音楽
 (オ) 作品ごとにつくられる12音からなる音列を基本として、無調の作品を構成する作曲法
 (カ) 2度以下の音程でぶつかり合う音を多数同時に鳴らす手法

- 5 次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) ピリオド楽器とは何ですか。書きなさい。

(2) 次の①～④はどのようなものですか。それぞれ書きなさい。

- ① フラウト・トラヴェルソ
 ② リュート
 ③ ヴィオローネ
 ④ チェンパロ

(3) 次の文章は、通奏低音について説明したものです。文中の(①)～(③)に当てはまる言葉を、下の(ア)～(カ)のうちからそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

(①)のヨーロッパで広く行われたもので、(②)奏者、またはハープなどの撥弦楽器奏者が、与えられた低音の上に、(③)伴奏声部を完成させる方法及びその低音部を指す。

- (ア) 17～18世紀
 (イ) 19～20世紀
 (ウ) 金管楽器
 (エ) 鍵盤楽器
 (オ) 持続音を重ねて
 (カ) 即興で和音を補いながら

8 中学校 音楽科 問題用紙

(6枚のうち3)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

6 あとの楽譜を基に、次の【条件】に従って旋律をつくり、解答欄の五線譜に書きなさい。

【条件】

- ① フルーツで演奏するための副次的な旋律とすること。
- ② 旋律に用いる音は、一点ハ音から三点ト音までとすること。
- ③ プラルトリラーを用いること。
- ④ モルデントを用いること。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

8 中学校 音楽科 問題用紙

(6枚のうち4)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(6枚のうち5)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

2 平成 29 年 3 月告示の中学校学習指導要領 音楽 [第 1 学年] 内容 A 表現 (1) には、次のように示されています。

- (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。
- イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。
- (ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり
- (イ) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり
- ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。
- (ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能
- (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能

教材として「ソーラン節」を取り扱い、ア、イの(イ)、ウの(ア)を組み合わせた題材を設定することとします。また、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素として、旋律を選択することとします。次に示す生徒の状況を踏まえ、下の 1・2 に答えなさい。

生徒の状況	<対象学年> 第 1 学年
	生徒はこれまでに、「南部牛追歌」、「伊勢音頭」、「谷茶前」、「酒づくり歌」を鑑賞する活動を行った。

1 この題材における「思考・判断・表現」の観点に関する評価規準を書きなさい。

2 題材名を挙げて、3 単位時間で扱う学習活動を書きなさい。

3 第 3 学年の創作の授業において、ハ長調の音階を使ってまとまりのある旋律をつくる活動を取り入れました。次の 1・2 に答えなさい。

1 生徒は、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしています。しかし、まとまりのある創作表現を創意工夫することとは十分ではありません。生徒がまとまりのある創作表現を創意工夫するためには、どのような学習の過程が大切ですか。書きなさい。

2 この活動を通して、創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けることを指導します。例えば「2 小節の長さでつくったハ長調の動機を、反復、変化させたり、重ねたりするなどして、2 本のアルトリコーダーのためのまとまりのある音楽をつくること」という課題や条件に沿って旋律をつくる際の技能とは、どのようなものだと考えられますか。3 つ書きなさい。

(6枚のうち6)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 4 次の文章は、平成 29 年 3 月告示の中学校学習指導要領 音楽 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (3) の一部を示したものです。このことに関して、下の 1・2 に答えなさい。

イ 生徒や学校、地域の実態などを考慮した上で、指導上の必要に応じて和楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、(①) 及び世界の諸民族の楽器を適宜用いること。なお、3 学年間を通じて (②) 種類以上の和楽器を取り扱い、その表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう工夫すること。

- 1 文章中の空欄 (①) に当てはまる語、空欄 (②) に当てはまる数字はそれぞれ何ですか。書きなさい。
- 2 和楽器のうち、吹き物を 3 つ書きなさい。

8

中学校 音楽科 解答用紙

(5枚のうち1)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号		解答欄		
1	1	(1)	楽曲名	
			作曲者名	
		(2)	楽曲名	
			作曲者名	
		(3)	楽曲名	
			作曲者名	
	2	(1)		
		(2)		
		(3)		
		(4)		
		(5)		
		(6)		
	3	(1)		
		(2)		
		(3)		
		(4)		
		(5)		
		(6)		

8

中学校 音楽科 解答用紙

(5枚のうち2)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号		解答欄	
1	4	(1)	
		(2)	
		(3)	
	5	(1)	
		(2)	①
			②
			③
			④
		(3)	①
			②
			③

中学校 音楽科 解答用紙

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

1

8

中学校 音楽科 解答用紙

(5枚のうち4)

受験番号

氏 名

問題番号

解答欄

1

題材名 (

)

時間

学習活動

2

2

※ 必要に応じて線を引いてもよい。

8

中学校 音楽科 解答用紙

(5枚のうち5)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号		解答欄	
3	1		
	2		
4	1	①	
		②	
	2		

中学校音楽科採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意	配 点					
1	1	(1)	楽曲名	剣の舞	内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 6				
			作曲者名	ハチャトゥリヤン						
		(2)	楽曲名	ハバネラ			内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 2 × 6		
			作曲者名	ビゼー						
		(3)	楽曲名	結婚行進曲					内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 6
			作曲者名	メンデルスゾーン						
	2	(1)	熱情的に		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 2 × 6				
		(2)	brillante							
		(3)	歌うように							
		(4)	表情豊かに							
		(5)	荘厳に							
		(6)	おどけて							
	3	(1)	詩の各節が同じ旋律を繰り返すように作曲された歌曲。		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 6				
		(2)	詩の各節に新しい異なった旋律が付けられる歌曲。							
		(3)	内容的にも性格的にも相互に関連のあるいくつかの歌 曲が一定の順序で配列されて、全体でひとつの音楽的ま とまりをもっているもの。							
		(4)	4小節ずつの前楽節と後楽節でできている形式。							
		(5)	2つの部分（A、B）からなる形式。							
		(6)	3つの部分からなる形式。このうち、第1部と第3部は 同一、あるいは類似した性格をもつ。							
	4	(1)	(ウ)			各 2 × 3				
		(2)	(カ)							
		(3)	(ア)							

中学校音楽科採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
1	5	(1)	作品が作曲された当時の形状に復元された楽器のこと。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	3
		(2)	① 木製で、指孔を押さえて様々な高さの音を出す、横笛式のフルート。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 4
			② 西洋梨を縦に割ったような共鳴胴と、そこから張り出した棹をもつ、複弦の撥弦楽器。		
			③ ヴィオール属の中で最も低い音域をもつ弓で演奏する楽器。フレットが付く。		
			④ 16～18 世紀に最も栄えた鍵盤楽器。鍵盤をたたくと、弦が爪で弾かれて音が出る仕組みになっている。		
		(3)	① (ア)		各 2 × 3
			② (エ)		
			③ (カ)		
	6	※ 別紙 (計1枚)		問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	40
2	1	旋律を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5

中学校音楽科採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点						
2	2	題材名（民謡の節回しに関心をもち、特徴を生かして歌おう） <table><tr><th>時間</th><th>学習活動</th></tr><tr><td>1</td><td> ○「ソーラン節」の節回し及び声の音色や響きに関心をもち。 ・地域の指導者による「南部牛追歌」、「酒づくり歌」、「ソーラン節」の演奏を聴いて印象などを自由に話し合う。 ・「ソーラン節」について教師の説明を聞く。 ・「ソーラン節」について、図形楽譜を見ながら、地域の指導者による演奏を聴いたり、地域の指導者と一緒に歌ったりして、発声や旋律の特徴を捉える。 ・捉えた特徴を学級全体で発表し合う。 ・発表し合った「ソーラン節」の発声や旋律の特徴を、実際に歌って確認する。 ・「ソーラン節」の発声や旋律について気付いた特徴をワークシートに書く。 ・地域の指導者と一緒に体を動かしながら「ソーラン節」を歌う。 </td></tr><tr><td>2</td><td> ○第1時の学習を想起して「ソーラン節」を歌う。 ・地域の指導者と一緒に「ソーラン節」を歌う。 ・前時に書いたワークシートを見て、「ソーラン節」の旋律について気付いた特徴を想起し、再度体を動かしながら「ソーラン節」を歌う。 ○「ソーラン節」の旋律を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 ・合唱に編曲された「ソーラン節」を聴いて印象などを自由に話し合う。 ・合唱に編曲されたものと、民謡の「ソーラン節」とを歌い比べながら、それぞれの節回しについて気付いた特徴を発表し合う。 ・民謡の「ソーラン節」の特徴を生かすための発音や節回しなどについて、他の生徒や地域の指導者と歌い試しながら話し合う。 ・民謡の「ソーラン節」の節回しが生み出す特質や雰囲気を生かしてどのように歌うかについての思いや意図をワークシートに書く。 ・ワークシートに書いたことを発表し合い、ペアやグループで歌い試しながら歌唱表現を創意工夫する。 </td></tr><tr><td>3</td><td> ○創意工夫を生かして「ソーラン節」を歌う。 ・第2時で取り組んだ歌唱表現の創意工夫を想起しながら、「ソーラン節」を歌う。 ・地域の指導者が提示する発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などを様々な試しながら「ソーラン節」を歌う。 ・ペアやグループでどのように歌うかについての思いや意図を再確認するとともに、考えが変わったりより具体的になったりしたところがある場合は、ワークシートに加筆する。 ・思いや意図をもって「ソーラン節」を歌う。 ・地域の指導者と一緒に「ソーラン節」を歌い、題材における学習を振り返ってワークシートに書く。 </td></tr></table> 題材名及び学習活動は、問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。 50	時間	学習活動	1	○「ソーラン節」の節回し及び声の音色や響きに関心をもち。 ・地域の指導者による「南部牛追歌」、「酒づくり歌」、「ソーラン節」の演奏を聴いて印象などを自由に話し合う。 ・「ソーラン節」について教師の説明を聞く。 ・「ソーラン節」について、図形楽譜を見ながら、地域の指導者による演奏を聴いたり、地域の指導者と一緒に歌ったりして、発声や旋律の特徴を捉える。 ・捉えた特徴を学級全体で発表し合う。 ・発表し合った「ソーラン節」の発声や旋律の特徴を、実際に歌って確認する。 ・「ソーラン節」の発声や旋律について気付いた特徴をワークシートに書く。 ・地域の指導者と一緒に体を動かしながら「ソーラン節」を歌う。	2	○第1時の学習を想起して「ソーラン節」を歌う。 ・地域の指導者と一緒に「ソーラン節」を歌う。 ・前時に書いたワークシートを見て、「ソーラン節」の旋律について気付いた特徴を想起し、再度体を動かしながら「ソーラン節」を歌う。 ○「ソーラン節」の旋律を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 ・合唱に編曲された「ソーラン節」を聴いて印象などを自由に話し合う。 ・合唱に編曲されたものと、民謡の「ソーラン節」とを歌い比べながら、それぞれの節回しについて気付いた特徴を発表し合う。 ・民謡の「ソーラン節」の特徴を生かすための発音や節回しなどについて、他の生徒や地域の指導者と歌い試しながら話し合う。 ・民謡の「ソーラン節」の節回しが生み出す特質や雰囲気を生かしてどのように歌うかについての思いや意図をワークシートに書く。 ・ワークシートに書いたことを発表し合い、ペアやグループで歌い試しながら歌唱表現を創意工夫する。	3	○創意工夫を生かして「ソーラン節」を歌う。 ・第2時で取り組んだ歌唱表現の創意工夫を想起しながら、「ソーラン節」を歌う。 ・地域の指導者が提示する発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などを様々な試しながら「ソーラン節」を歌う。 ・ペアやグループでどのように歌うかについての思いや意図を再確認するとともに、考えが変わったりより具体的になったりしたところがある場合は、ワークシートに加筆する。 ・思いや意図をもって「ソーラン節」を歌う。 ・地域の指導者と一緒に「ソーラン節」を歌い、題材における学習を振り返ってワークシートに書く。
	時間	学習活動								
	1	○「ソーラン節」の節回し及び声の音色や響きに関心をもち。 ・地域の指導者による「南部牛追歌」、「酒づくり歌」、「ソーラン節」の演奏を聴いて印象などを自由に話し合う。 ・「ソーラン節」について教師の説明を聞く。 ・「ソーラン節」について、図形楽譜を見ながら、地域の指導者による演奏を聴いたり、地域の指導者と一緒に歌ったりして、発声や旋律の特徴を捉える。 ・捉えた特徴を学級全体で発表し合う。 ・発表し合った「ソーラン節」の発声や旋律の特徴を、実際に歌って確認する。 ・「ソーラン節」の発声や旋律について気付いた特徴をワークシートに書く。 ・地域の指導者と一緒に体を動かしながら「ソーラン節」を歌う。								
2	○第1時の学習を想起して「ソーラン節」を歌う。 ・地域の指導者と一緒に「ソーラン節」を歌う。 ・前時に書いたワークシートを見て、「ソーラン節」の旋律について気付いた特徴を想起し、再度体を動かしながら「ソーラン節」を歌う。 ○「ソーラン節」の旋律を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 ・合唱に編曲された「ソーラン節」を聴いて印象などを自由に話し合う。 ・合唱に編曲されたものと、民謡の「ソーラン節」とを歌い比べながら、それぞれの節回しについて気付いた特徴を発表し合う。 ・民謡の「ソーラン節」の特徴を生かすための発音や節回しなどについて、他の生徒や地域の指導者と歌い試しながら話し合う。 ・民謡の「ソーラン節」の節回しが生み出す特質や雰囲気を生かしてどのように歌うかについての思いや意図をワークシートに書く。 ・ワークシートに書いたことを発表し合い、ペアやグループで歌い試しながら歌唱表現を創意工夫する。									
3	○創意工夫を生かして「ソーラン節」を歌う。 ・第2時で取り組んだ歌唱表現の創意工夫を想起しながら、「ソーラン節」を歌う。 ・地域の指導者が提示する発声、言葉の発音、呼吸する際の身体の使い方などを様々な試しながら「ソーラン節」を歌う。 ・ペアやグループでどのように歌うかについての思いや意図を再確認するとともに、考えが変わったりより具体的になったりしたところがある場合は、ワークシートに加筆する。 ・思いや意図をもって「ソーラン節」を歌う。 ・地域の指導者と一緒に「ソーラン節」を歌い、題材における学習を振り返ってワークシートに書く。									

中学校音楽科採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

【注意】問題によっては、配点を割とする。

問題番号		正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意		配 点	
3	1	生徒がまとまりを感じ、その根拠を〔共通事項〕アと関わらせた指導によって明らかにしていく過程が大切である。例えば、複数の参考作品を例示し、生徒が「まとまりがある」と感じるものと「まとまりがない」と感じるものとを比較し、その要因を探り、まとまりのある音楽をつくる際の工夫点を見いだしていくなどの学習が考えられる。その際、歌唱や器楽、鑑賞における既習曲などを参考にすることも有効な手段の一つである。		問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。		6	15
	2	ハ長調の音階から音を選んで、ハ長調の特徴を生かした2小節の動機をつくっている。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。		各 3 × 3	
		まとまりのある感じを生み出すための根拠に基づいて、つくった動機を反復、変化させたり、重ねたりして、音楽をつくっている。					
4	1	①	電子楽器			各 3 × 2	15
		②	1				
	2	笙、箏、箏篋、竈笛、高麗笛、神楽笛、能管、篠笛、尺八 など		3つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。		各 3 × 3	

1

6

著作権保護の観点により、掲載いたしません。